

## 平成28年度第2回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

### 1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

(1) 開催日時 平成28年（2016年）5月19日（木） 午後2時00分～同4時30分

(2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4

(3) 出席者

・景観審議会デザイン協議部会委員

徳尾野部会長、三谷委員、林委員、大平委員、妹背委員

・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）

坂井部長、山下室長、下野課長、谷口係長、志村係長、瀨崎職員

・事業者

議事① 設計者 株式会社T O K I 設計

議事② 事業者 学校法人 宝塚伊和志津学園

設計者 株式会社ライフデザイン研究所

(4) 議 事

議事① （仮称）エスリード宝塚市栄町新築工事

議事② （仮称）逆瀬川幼稚園新築工事

(5) 傍聴者

なし

### 2. 会議の要旨

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員5名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、林委員と妹背委員です。

会 長： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局： いらっしゃいません。

☆☆☆☆ （仮称）エスリード宝塚市栄町新築工事（2回目） ★☆☆☆

会 長： 前回の会議での意見を反映して変更して頂きましたが、エントランス廻りはそれとは関係なく今回デザインを変えておられますので、そのあたりを中心に、今回の事業計画について説明してください。

また、消防用活動空地の付近については、今回の資料の中であまり説明がありませんが、歩行者の視点で見ると、建物の顔になる部分だと思いますので、こちらの部分についての景観的な配慮、どのように見えてくるかについても併せて説明してください。

事業者： 変更部分を中心に説明します。

- ・ 前回の計画では、エントランス前の塀をベージュ系の石目のタイルとし、単色で計画していましたが、今回は、重厚感、また、エントランスを強調するために、石目調の割り肌のタイルと、石目の黒のタイルを組み合わせ使用し、全体的に黒っぽい色とし、建物全体とまとまりのあるデザインに変更しました。
- ・ 前回指摘がありましたエントランス周りの塀の高さについては、3.5メートルから2.5メートルに変更し、できるだけ植栽が見えるよう配慮しました。
- ・ 消防用活動空地の床の仕上げについては、事業主はアスファルト舗装を希望されていましたが、周囲からの見え方に配慮し、歩道のインターロッキングの色と合わせてカラーアスファルト舗装に変更しました。

会 長： 道路と消防用活動空地の境界は何か設置されますか。

設計者： 縁石と側溝があります。

会 長： オープンになっているのですか。

設計者： はいそうです。

会 長： 敷地境界沿いのフェンスについてですが、南側、西側にはフェンスを設置されるようですが、消防用活動空地の周囲や、北側、東側の道路境界沿いには設置されないのですか。具体的にどの部分にフェンスが設置されるのか、図面では解りにくいので説明してください。

設計者： 南側、西側については、敷地境界沿いに設置します。東側は、駐車場への

進入路や、駐輪場への出入り口がありますので、フェンスは設置しません。  
また、北側は、受水槽、キュービクル周りは塀を施工しますが、消防用活動  
空地の周囲にはフェンスは設置しません。

会 長： では、委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 外構図では、フェンスの位置がわかりにくいです。フェンスはどの位置で  
閉じているのですか。防犯面や安全面で必要な部分はあると思いますが、景  
観という視点で見ると、フェンスの設置は必要最低限にとどめた方が良いで  
す。例えば、西側の河川沿いは、北西角の植栽部分までフェンスを延さなく  
ても、建物のエントランス横の角までフェンスを回して囲えば、防犯上は十  
分対応できると思いますので、植栽の部分にまでフェンスを延長する必要は  
ないと思います。いずれにしても、フェンスの設置は必要最低限とするよう  
再検討し景観に配慮してください。

設計者： 検討します。

委 員： エントランスの東側は塀ですか。

設計者： 目隠しフェンスです。

委 員： メインアプローチにフェンスを使用されるのですか。目隠し塀ではないの  
ですか。どのようなフェンスをされますか。縦格子ですか。

設計者： 特注品なのでお見せできる写真はありません。鋳物で、格子が密になった  
デザインです。

委 員： 今の説明ではどのようなフェンスか想像できないです。色は真っ黒なので  
すか。

設計者： 鋳物なので、黒っぽいですが真っ黒ではないです。

委 員： フェンスができるだけ街から見えないよう景観に配慮し、設置範囲を整理  
してください。

設計者： わかりました。

会 長： 基壇部分のデザインについて、前回の会議では、周囲の街並みと連続するよう YR 系とする旨説明がありましたが、今回の説明では、黒に変更したと説明されました。今回のデザイン変更により、街並みと連続させるという配慮がなくなってしまうと思います。道路に面した塀の高さを低くして、緑が見えるよう配慮された部分は評価できますが、基壇部を黒っぽい色に変更されたことにより、周囲の街並みから浮いてしまうと思います。歩行者の目線だと至近距離に見えますし、この建物により、YR 系の街並みの連続性が途切れてしまいます。これについてはどのようにお考えですか。

設計者： 建物として重厚感を出したいと考え、このような計画になりました。道路からの見え方は、建物のエントランスが強調されるような計画としています。また、植栽とのバランスを考えた時に、個人的な感覚かもしれませんが、ベージュよりも黒の塀の方が、植栽が強調され緑が映えると思います。植栽を強調し、街路樹等との緑の調和を意識しました。

委 員： 今回のエントランス周辺の計画は、塀の前面に植栽帯を設けているわけはありません。また、歩行者の目線で、壁面と緑のコントラストが見える計画にはなっていないと思います。

設計者： 入り口部分西側に、シンボルツリーやコブシの株立ちを配置し、塀の足元の小さい植栽を配置し、エントランスへ導くようなデザインとしています。エントランス西側付近に緑を多く使い、景観へ配慮したデザインにしています。

委 員： 道路側のキュービクル周りの塀については、歩行者には圧迫感があると思います。例えば、格子の裏側からツル性のサネカズラなどを植えれば、葉っぱが格子の隙間からチラチラ見えて、先ほど説明されたような壁面と緑のコントラストが実現できるのではないかと思います。

設計者： サネカズラなどを植えようと思うと、土の部分がどの程度必要になるのですか。

委 員： 現況計画されているキュービクル、受水槽と塀との隙間があれば、十分大丈夫だと思います。

設計者： 受水槽、キュービクルの周囲は、管理上人が通れないといけないので、あまり植栽スペースを設けられないと思います。

委員： 受水槽、キュービクルの周囲はアスファルトですか、砂利ですか。

設計者： 砂利です。

委員： メンテナンス用に受水槽、キュービクルから塀までの寸法が、一定以上必要だということですか。

設計者： 必要です。

委員： ツル性のものであれば、フェンスに沿って絡ませていけば壁にそって伸びますので、足元はあまり広がらないです。土は深さ 20 cmから 30 cm程度は土壌改良しないといけないかもしれませんが、地面は歩ける状態が確保できると思います。壁面の黒い格子の部分に這わせれば、道路側から見れば、緑がチラチラ見えると思います。歩行者の目線からみれば、これだけでも優しい感じに見えると思います。

設計者： 検討をしたことはありますが、育てることが難しいと思い、提出図面には記入しませんでした。

委員： ツル性のもの、特にサネカズラであれば、肥料などを気にせずに放置しても自然に育ちます。壁面と緑のコントラストが楽しめるよう検討してください。

設計者： 検討します。

委員： 国道 176 号沿いには、現状あまり緑がありません。歩道部分にも思うほど緑がないのが現状で、宝塚らしさが失われています。この辺りは、昔は企業の保養所などがありましたが、次々とマンションに建て変わってきています。この建て替えの際に、それぞれが少しでも植栽に工夫をしていけば、塵も積もれば山となるという感じで、良くなっていくと思います。ツル性のものでもよいので工夫して緑を増やして欲しいと思います。

委員： 誤解をしないよう整理します。前回の計画は、建物全体は黒っぽいですが、

基壇部分は YR 系を取り入れて、周囲の街並みとの連続性に配慮されていました。この部分を前回の会議では大変評価していましたし、この街並みの連続を設計者も十分理解しておられたので、私たちも納得していました。しかし、今日提示された計画は、街並みに対する配慮という観点を無視して、この建物自身のグレードを上げるために、基壇部に黒を取り入れられたということです。景観審議会としては、この計画は認められません。街並みに対する配慮という部分に立ち返って再検討してください。

また、先ほどの壁面緑化の話は、基壇部の黒色のボーダー部分に、黒の代わりに緑を取り入れられれば、もう少し優しい街並みになるということです。黒い目地の代わりに緑を取り入れられれば、今よりは良くなるということであって、景観審議会としては、あくまでも原案で計画を進めていただきたいと思っています。

もし、本日の意見が受け入れられないということであれば、設計者が出席してコンセプトを再度説明してください。

委員： 街並みに対する配慮は、緑だけで対応できるというものではありませんので、再度検討をお願いします。

設計者： 検討します。

会長： 外壁の色彩の件ですが、色彩専門の委員が本日は都合で欠席しています。事前にタイルの見本を専門の委員が拝見させて頂きました。2丁掛けタイルの色彩ですが、3色のタイルを同率で混ぜると聞いていますが、一番薄い色と中間色との色彩にあまり差がないようですので、同率で混ぜると白っぽいイメージになるように思います。中間色を除いた2色を同率で混合するか、薄い色と中間色と濃い色とを1：1：2で使用された方が良いと思います。

設計者： 見本では、薄い色と中間色にあまり差がないように見えますが、3色混ぜた方が全体で見た時に自然な感じになると考えています。

委員： 薄い色と中間色とのタイルの混合比については設計者にお任せします。

会長： ここまでの意見をまとめます。一つ目は、事業主との話し合いが必要になるとは思いますが、外構のフェンスはできるだけ使用部分を控え、周囲からの見え方に配慮すること。

二つ目は、色彩について原案に立ち返って検討してくださいということ

す。前回の会議で、街並みとの連続性に配慮し基壇部は YR 系とすると説明がありましたので、今回の提示色は前回説明されたコンセプトとは異なります。再検討してください。

また、緑化については、ツル性のものでも良いので、歩行者の目線に合わせて、できるだけ植栽を取り入れてください。

ほかに何か意見があればお願いします。

委員： 植栽計画については、前回の意見を取り入れて変更され、良くなったと思います。アプローチ西側の奥にアオダモを配置されていますが、落葉樹ですので、冬は葉がなくなり枝だけになり、あまり見栄えが良くないかもしれません。シマトネリコや葉っぱが個性的なカクレミノのなど、日照条件が悪くても育つ常緑のものを推奨しますので再度検討ください。

委員： エントランス横のメインツリーとしてシラカシを配置されていますが、歩行者から見ると、入り口の付近に常緑の高木があると鬱蒼とします。特にシラカシは、まめに剪定すればよいのですが、放置すると非常に鬱蒼としてきます。

歩道の近くは、できるだけ落葉樹を配置された方が良いと思います。前回はケヤキを推奨しましたが、難しいとの回答でした。エゴノキの株立ちであれば、インターロッキングに根が入って行くこともないと思いますので、落葉のエゴノキを歩道側に配置し、タブノキをシラカシに置き換えてもいいと思います。タブは横に広がってきます。シラカシは上にすらっと伸びます。再度検討してください。

設計者： 検討します。

会長： エントランス及び基壇部については、街並みにやさしい景観となるよう再検討してください。

議事 1 については、これで協議を終了とします。

☆☆☆★ (仮称) 逆瀬川幼稚園新築工事 ★☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画で景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者： 事業計画について説明します。

- ・ 伊和志津神社の敷地内での計画で、神社との境界にフェンスは設置しません。現況の敷地の利用形態や、建物の配置、道路からの動線などは現状を維持するよう計画しています。
- ・ 第一種中高層住居専用地域に位置していますが、建物の高さは 10m以下の低層とし、勾配屋根を採用し神社の景観にも配慮しました。
- ・ 建物の色彩については、周囲の環境に配慮し、神社に馴染むよう落ち着いた色彩としています。
- ・ 植栽計画は、特に高木については既存樹木を残す計画としています。

会 長： 事前に確認したいのですが、今回提示されている外壁、屋根の色彩は、事務局打合せ時の色彩から大分変更されたようですが、変更された理由を教えてください。

設計者： 色彩については神社の建物のイメージを取り入れて、白っぽい壁としています。屋根については、鋼板を使用するので、メーカーの基準色のため、打合せの時よりも少し薄い色味になりました。同系色なのですが、材料選定の際に事務局と打合せした色目と少し変わってしまいました。

会 長： では、委員よりご意見やご質問があればお願いします。

委 員： 外壁の仕上げの切り替え部分はどこですか。塗装については、吹付とコテ仕上げの切り替え部分、また、塗装部分とせつ器質タイルとの切り替え部分は具体的にどの位置ですか。

設計者： 平面図でご説明します。コテ仕上げの部分は、X2 通りから X1 通りのアールの部分です。また、せつ器質タイル貼は、X2 通りから X9 通りの柱の角までです。

委 員： 例えば、北側の部分は厨房事務室まで壁が延びているのですが、壁の入隅ではなく、アールの終わりで仕上げを変えるのですか。南面については、アールの終わりにそのまま壁が延びているのですが、ここもアールの終わりで仕上げを変えるのですか。また、せつ器質タイル貼りも柱の角ではなく、洗濯機置場の壁の入隅まで延さないのですか。

設計者： 今の計画では、立面図に記載のとおりです。



委員： 仕上げを面の途中で切り替えられるのですか。材料の切り替え部分については、納まりをもう少し工夫された方が良いと思います。例えば、せつ器質タイル貼りについては、洗濯機置場の壁の突き当りまで延した方が、すっきりして良くなると思います。再度検討をお願いします。

設計者： 検討します。

委員： この建物は、低層で綺麗に見えるのですが、デザインのポイントとしては、横ラインをどれだけシャープに見せられるかが重要になると思います。底のラインは綺麗に通っているのですが、バルコニー小口の見え方が気になります。梁型の寸法がそのまま見えてくるのですか。できるだけ小口を小さくしてシャープに見せた方が良くなると思います。

設計者： 現状はパースと立面図、断面図に相違があり、整合できていません。バルコニーの下部は配管等を隠すために天井を貼る予定ですので、断面に記載している Y1 通りの梁よりは小さいですが、40 cm程度垂れ壁が見えることになります。

委員： 屋根の先端はどのような仕上げになっているのですか。

設計者： アルミの曲げ物に木目シートを貼る仕上げとしています。

委員： 断面とパースが異なっています。断面には樋がありますが、パースが正しいのですか。

設計者： パースが正しいです。樋に落ち葉が詰まり掃除ができませんので、計画の途中で樋の設置を取りやめることにしました。

委員： 木目のシートは、木造の屋根の鼻先のイメージですね。デザイン的には良いと思いますが、シートだと劣化が気になります。メンテナンスを短いスパンで予定されていればよいのですが、経年劣化で見苦しくならないか心配です。シート以外の材料も検討された方が良いと思います。

設計者： 検討します。

委員： 外壁の色ですが、神社の壁をイメージしたと説明がありましたが、白すぎま

せんか。

設計者： できる限り白っぽくして、漆喰のイメージにしました。

委員： 外観が白すぎるのではないかという意見がでています。漆喰をイメージされているとのことですが、材料が異なりますし、建物の用途も異なりますので、あまり神社のイメージに引っ張られると、結果的に独りよがりになってしまい、周囲から浮いてしまうのではないですか。そのあたりも考慮して、外観の色彩について再度検討して下さい。

委員： 2階建てですが壁面はかなりの面積があります。外壁、屋根等の材料見本があれば確認させて下さい。

設計者： 本日持参しております。外壁の仕上げは、色は同じですが、吹き付けの部分とコテ仕上げの部分があります。せつ器質タイルの目地は白です。

委員： 屋根の色が少し薄いように思います。

設計者： 一般的によく使用されている鋼鉄の緑色です。

委員： 背景に神社の木々の緑が見えるので、屋根の色が薄いと、浮いて、締りがなくなると思います。

設計者： 神社でもよく使用されている屋根の色だと思います。

委員： 現在の幼稚園の屋根は、もう少し青いですか。

設計者： 現在は青です。

委員： もう少し灰色がかったような、渋みを持たせるような色味にはできないですか。

設計者： 色の調整ができればよいのですが、規格品なので難しいです。施工例をメーカーから取り寄せて確認し、この色を選定しました。

委員： 外壁の色は、微妙な色の調整はできないのですか。

設計者： 外壁についても、規格品の中から選んでいます。

委員： 明度、彩度を変更することはできないのですか。

設計者： 明度、彩度は変更できません。メーカーの規定の色の中から選ぶという形です。

委員： ホワイト系の色はこれしかないということですか。

設計者： もう少しクリーム色がかったものや、グレーがかったものあります。

委員： それらのホワイト系の色のなかで、基壇部分のせつ器質タイルの色に合わせて選んだのが、提示されている色ということですか。

設計者： 提示した白が綺麗だということで選定しましたが、白すぎるということですか。

委員： 壁の面積が広いので、白すぎるのが気になります。

設計者： 壁の面積が比較的広い面は北側ですし、神社があり木々も多く陰になりますので、真っ白には見えないだろうとイメージしています。また、北側の窓もサイズが大きいので、壁面の白は思うほど広くないと考えています。

委員： サンプルと実際の壁面での見え方は異なりますし、壁面が大きいとより白く明るく見えますので、色彩の判断は難しくなります。できるだけ白みを抑えた色を検討して頂きたいと思います。

委員： タイル部分の目地の色は何色ですか。

設計者： 外壁の色と同じ白色です。

委員： 外壁のアールの部分は、コテ仕上げですが庇がありません。直接風雨にさらされますので、汚れが気になります。庇のある部分を凹凸のある仕上げとし、庇のない部分をプレーンな仕上げとした方が、新築当初のイメージを維持で

きると思います。これは、あえて経年変化を狙って仕上げを変えているのですか。

設計者： そこまでは考えていません。

委員： 外壁の色ですが、他の色の材料見本は持参されていませんか。

設計者： 何点か持参しています。

委員： 最初に提示された白よりは、後で提示された色味のものの方が良いと思います。本日提示された見本の中では、カラーNo.T1702が良いと思います。

設計者： ご意見としては、壁は白すぎで、屋根の緑色が薄すぎることですか。

委員： 屋根の色は、緑青の色をイメージされているように思いますが、材質が異なりますので、緑青の色と同じイメージになるかは難しいですね。

委員： 東側や南東付近の道路から見たときに、神社の緑が見えますが、思っているよりも木々の緑が濃いので建物が浮いてしまわないか心配です。特に北側が神社なので、木の緑がさらに濃く映ると思います。屋根の色、外壁の色について再検討してください。

会長： 次に外構周りの意見に移りたいと思います。

委員： 南側の駐車場の部分は、今後はどのように利用されるのですか。園庭の南側に樹木が多いのですが、日照は今後も確保されますか。

設計者： 駐車場部分は所有者が異なります。2階建の戸建住宅が5軒建つと聞いています。園庭とは高低差があり、駐車場が一段下がっていますので、日照は今後も大丈夫だと思います。

委員： 建物の北側にサツキツツジを計画されていますが、日照条件があまりよくないので、生育が悪いと思います。北側境界沿いはフェンスを設置されないと説明がありましたので、神社の敷地と一体的に利用できる工夫や、一体的に見える工夫をした方がより良くなると思います。サツキツツジの低木で揃えるのではなく、ランダムに花が咲く草木を配置した方が良いと思います。樹

種としては、クチナシ、アジサイ、ヤブツバキ、ジンチョウゲなどを配置されると高さが色々になりますし、平面的にもでこぼこして神社と繋がりが感じられますし、季節も感じる事ができますので良いと思います。廊下からも見える場所ですし、子供たちも季節を感じることができ、良いと思いますので検討して下さい。

設計者： 検討します。

委員： 東側道路沿いの緑化部分は、かなり傾斜があるのですか。高木を植えるのは無理ですか。

設計者： かなり傾斜がありますので、メンテナンスが難しいと考えています。

委員： メンテナンスが難しいということであれば、サツキツツジもある程度メンテナンスが必要になる樹種です。この部分にはあまり人が入らないという予定であれば、コグマザサはメンテナンスが少なくて良いです。また、道路沿いに高い擁壁がありますので、擁壁沿いにはツル性のテイカカズラを植えると、あまり手がかからず、道路側から見た時に優しいデザインになると思います。

設計者： 検討します。

委員： 園庭南側に野芝を予定されていますが、可能であれば既存樹の間に低木を植えるともっと良くなると思います。例えば、コバノミツバツツジは紫色の花が咲き、とてもきれいに見えますので推奨します。

また、メンテナンスは必要ですが、園庭の芝生化は子供にもとても良い効果があると思います。園庭の利用形態を考えながら、プールや鉄棒の付近など一部でも良いので園庭の芝生化を検討して頂きたいと思います。芝生化すると年に5、6回はメンテナンスが必要になりますが、プールの付近を芝生化すれば、裸足でプールまでアプローチできますし、とても良いと思います。

事業者： 以前にプールの周りで芝生化を試みたことがありましたが、その時は日当たりが良すぎたのか、うまく育ちませんでした。園庭の芝生化のメリットは理解していますので前向きに検討しますが、どの程度までうまく育てられるか検討が必要だと思います。

委員： 本格的に芝生化しようとするれば、スプリンクラーなども必要になると思いますが、最低限の整備としては、草が生える土壌を整備すれば、草刈だけすれば、ある程度育つと思います。

委員： 兵庫県の「環境の保全と創造に関する条例」があります。今回の計画は、届出の義務はありませんが、建ぺい率が60%なら敷地面積の20%以上緑化を行う義務があります。是非芝生化にチャレンジして頂きたいと思います。

事業者： 検討します。

会長： 色々な意見が出ましたが、是非前向きに検討をお願いします。また、色彩については、本日専門の委員が欠席しておりますので、後日事務局を通して確認し、意見をお伝えします。

議事2については、これで協議を終了とします。